

# 監査広報

## 平成27年度 決算審査の結果

決算審査は、地方自治法などに根拠をおき、1年間の事務の執行が適正に行われたかをチェックするものです。

7月12日から22日までの間審査を行いましたので、その結果をお知らせします。

Audit public relations

(審査結果の見方) **監査** 監査委員の指摘事項など **回答** 町の改善策など

地方自治法第233条第2項及び地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成27年度松田町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、並びに上水道事業会計決算書、その他の関係証書類について審査し、また、地方自治法第241条第5項の規定により基金運用状況を審査した。

### 審査の結果を意見書として町長に提出

町長から審査に付された各会計決算書、財産に関する調書及び関係諸帳簿、証書類などを精査したところ、いずれも正確に記帳され、その内容も適正なものと認められた。

本審査を通じて確認した予算の執行については、一部事務手続きに改善を要するものを除き、関係法令に準拠して行われており、適正と認められた。

基金の運用状況を示す書類について審査の結果、計数は誤りのないものと認められ、その運用は所期の目的に沿ってなされており、関連する事務の処理は全ての重要な点において適正に行われていると認められた。

### 関係課(局・室)に共通の指摘事項など

**監査** 滞納者情報の二元管理は滞納整理にも役立つかと思われ、役場全体で滞納者の名寄せが可能な検討されたい。システム導入には費用が掛かり、時間も必要とするだろうから、担当課同士で連絡を取り研究するよう求めた。

**回答** 個人情報保護に十分に配慮したうえで、システムを利用しない方法での名寄せが可能かどうかを研究します。

### 各課(局・室)の指摘事項など

#### 議会事務局

**監査** 他団体において一連の不適切な使用が問われ、議員や知事が辞職に至るなど政治活動費に対する関心も高まり、取り巻く環境に厳しいものがある。議員各位にも理解協力を求めるような資料を揃えたら良いか研究された。

**回答** 条例等に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するための活動費であり、コンプライアンスに基づいた執行を引き続き図ります。

#### 出納室

**監査** 公金について安全かつ有利な運用を義務づけられているが、どのような運用方針が、しばらく超低金利の状況が続くと思われ、より有利な運用について研究してまいります。

#### 政策推進課

**監査** 地方版総合戦略の進捗状況、達成度合いは今後の交付金の交付に影響を及ぼすことから、地方創生に対する国の動向を注視することと併せ、進捗管理に細心の注意を払うよう求めた。

#### 回答

地方創生は重要な課題と捉えています。今後も国の動向を注視し、県や近隣市町村と連携を図りながら事業を実施し、進捗管理をしてまいります。

#### 監査

姉妹町交流が行事をこなすものになってしまっていないか、行政留まりで、民間への波及効果が薄いのではないかと町民同士が親近感の持てる事業を展開し交流を図るよう求めた。

#### 回答

姉妹町交流の重要性をPRし、町民参加を促す方策を実施するよう取り組んでまいります。

#### 総務課

**監査** 財産に関する調書の中で、山北町に土地を持つているが、現地を確認しているか。また、全ての財産について所在、現状把握は必要と考える。

#### 回答

財産の現状把握は、常に最新であることが望ましいことから、一定間隔で計画的に現地確認するよういたします。

#### 監査

町営住宅の経費の7割程度は借地料である。借地の返還が経費の削減に繋がることから、第一の課題・目標とされたい。

#### 回答

町営住宅の建設、集約事業において進めてまいります。

#### 監査

国民健康保険への平成27年度末の加入者及び保険料収入は前年度と比較すると減となっている。反面、医療費は10パーセント以上の伸びとなっている。これらを見るか、分析はこれからだと思いが、将来的にも大変憂慮すべき状況であると思う。また、近隣の市町の数字を把握し、分析することで町の置かれている状況や傾向が見えてくると思う。それらを参考にし、今後の運営に資するよう求めた。

#### 回答

近隣市町の状況を把握し、また、国民健康保険運営協議会の中で医療給付費の分

析などを行い、将来的に持続可能な安定運営を目指してまいります。

#### 福祉課

**監査** お休み処まつだの利用率を確認したところ、延べ3000人以上の利用実績があった。引き続き活発な活用をするよう求めた。

#### 回答

引き続き、お休み処など、地域の居場所づくりに取り組みます。

#### 監査

子育て支援センターについて、耐震診断は済んでおり、問題なしの結果ではあるが、施設の老朽化が進んでいることから、快適に利用できるように修繕を計画的に適切に行うよう求めた。

#### 回答

耐震改修の必要はないものの、施設の維持管理が適切に図られるよう、計画的に修繕を実施していきます。

#### 監査

妊産婦歯科健診の受診率について質問したところ、妊婦20%、産婦10%以下とのことであった。その際、ファミリーサポートの利用率も低い。予防医療に役立ててもらおう施策の1つであるので、利用を促し、健診の受診率を上げることが医療費抑制につながると思う。向上に努力願いたい。

#### 回答

妊娠届出、乳児訪問、3か月児健康診査の機会を利用し、より一層の啓発を図り、受診勧奨を行っていくとともに、「子育て相談室」の「のびのび」において、妊娠期における電話連絡などの機会を利用し、啓発を図っていきます。未受診の理由についても、各機会を利用し実態把握に努め、改善に取り組んでまいります。

#### 監査

町全体として有害獣の被害が増えていると聞いている。広域行政での対策がどのように行われているか質問したところ、抜本的な対策が無いとのことであった。自然相手の事業であるため、罠や檻の設置など試行錯誤しながら行うことが大切であると思う。山ビル対策も併せ効果のほどは不透明でも可能性があるのあれば期限を設けて行うなど、積極的に取り組んで欲しい。

#### 回答

平成28年8月の補正予算において、有害獣駆除を主とした有害獣被害実態等調査業務を地方創生推進交付金を用いて今年度実施します。また、山ビル対策については、県へ相談すること及び他市町村の事例を参考にしながら対策を考えていきます。

#### 監査

インフラ整備は町の将来への投資である。総合計画の各項目に沿った形で長期的視野に立つて町の発展に寄与するような道路網の整備をして欲しい。

#### 回答

平成27年3月に策定された「町道整備基本計画」に基づき、各路線の位置付け、重要度、費用対効果、事業の実現性を考慮し、優先順位を定めた道路整備を進めてまいります。

#### 環境上下水道課

**監査** 上水道事業において、近年、給水人口の減、一人あたりの使用量の減により給水収益は減少傾向にあり、営業利益はマイナスとなっており、加入負担金などによる雑収益で最終利益を確保している状態が続いている。不断の給水使用のもと経営安定に努力されたい。

#### 回答

水道事業につきましては、経営状況を分析し、健全な経営に取り組んでまいります。

#### 教育課

**監査** ICTの教育への導入は時代のさう勢だになってきている。他自治体での情報漏えいの問題も発生していることからセキュリティ対策には万全を期して欲しい。

#### 回答

情報セキュリティを確保するため、学習系システムと校務系システムを物理的に分離し、二要素認証の導入など認証の強化を図ります。また、学校教職員に対して、情報漏えいのないよう学校長をおして指導していきます。

#### 監査

松田中学校プールの光熱水費が他と比較して高額である理由について質問したところ、一部漏水によるものであるとのことであった。施設が老朽化していることから、同様の事例が今後も起こりうる可能性がある。水道検針の数値などに注意しながら適切に管理するように求めた。

#### 回答

松田中学校プールの漏水は、改修を実施しました。幼稚園・学校施設・設備は、定期的に点検を実施していますが、今後も継続して実施し、適切に管理していきます。

#### 監査

幼稚園の収支バランスについて確認をした。支出に対する収入の割合、保育料の単価が低く、反面サービスは行き届いている。数字をよく読み改善に努められたい。

#### 回答

今後も幼稚園教育を実施していくため、また負担の公平性を確保する観点から保育料などの見直しに取り組んでまいります。

**監査委員紹介**  
遠藤 孝生  
石内 浩  
識見監査委員(代表監査委員)  
議会選出監査委員

※紙面の都合上、一部抜粋して記載をしています。